

きょうの米原高校(6月5日)

熱中症の発生を心配するような気温の高い日が続いています。
夏の到来を、深坂を登る度に感じますね。

さて。今日は理数棟の屋上を訪れてみました。地学部や地学選択生のみなさん以外は訪れる機会の少ない場所ですが、見晴らしの良い屋上です。
理科の坂本先生から、一昨日くらいから太陽の活動が活発で、地学の授業でもプロミネンスの観測ができたよ、と聞きました。
プロミネンスは、太陽活動が活発な時に見られる太陽の縁の外側に盛り上がった構造で、炎が吹き出した様に見えるものです。日本語では紅炎(こうえん)ともいいます。
普通の望遠鏡などでは観測することができないので、水素原子が出す特別な光を観測できるカメラで観測をするそうです。



理数棟屋上



これらのカメラが、太陽が出す特別な光の波長に併せて
観測できるカメラです。



カメラをコンピュータにつないで、観測を行います。
手前のものが、太陽が出すカルシウムの光を。奥のものが
水素の光を観測するカメラです。

6月3日に撮影されたプロミネンスの写真です。
10時の方向に、プロミネンスが見えていますね。

